

大船渡湾内観測結果(No.7)

“今月の話題”

湾内の水温は16～18℃台であり、例年並みから1℃程低くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、湾口付近と比べて湾奥部で高くなっています。海底付近の溶存酸素は、珊瑚島北側と湾口で低くなっています。

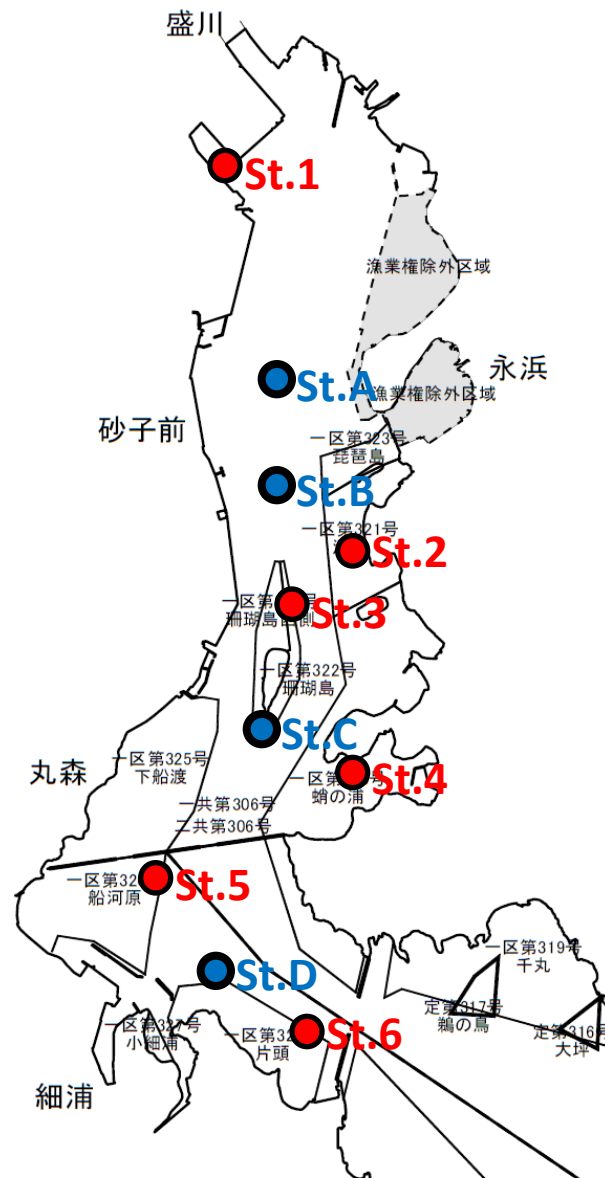
10月17日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は4.0～10.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-3.1～+2.2mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが17.1～18.5℃、水深10mが18.2～18.3℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-1.4～-0.1℃、水深10mが-0.6～-0.4℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年10月17日					
観測時刻		12:47	13:14	12:11	11:30	10:59	10:12
天候		晴					
気温(°C)		16.9					
風向		N					
風力		1					
水深(m)		9.1	24.3	27.1	18.3	24.9	37.4
透明度(m)		4.0	5.0	6.0	7.0	9.0	10.0
水色		8	7	8	7	8	7
水温(°C)	表層0m	18.8	17.4	17.7	16.7	15.7	16.2
	水深2.5m	18.5	18.1	18.3	18.1	18.4	17.1
	水深10m	-	18.2	18.3	18.2	18.2	18.2
	海底上1m	18.1	17.9	17.7	18.1	18.0	17.1
塩分	表層0m	26.8	31.1	31.2	31.2	30.4	30.7
	水深2.5m	33.4	32.8	33.3	32.3	33.3	31.9
	水深10m	-	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
	海底上1m	33.7	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	95.7	104.6	100.8	101.0	102.6	101.9
	水深2.5m	94.9	106.8	90.9	101.0	104.0	102.7
	水深10m	-	89.7	89.4	83.2	92.4	91.0
	海底上1m	64.2	65.2	47.8	82.3	78.6	45.6
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	2.0	1.9	1.8	1.1	1.0	1.1
	水深2.5m	9.6	5.5	2.3	1.4	2.1	2.9
	水深10m	-	1.0	0.9	1.1	1.0	0.8
	海底上1m	0.9	0.5	0.5	0.6	0.5	0.4



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

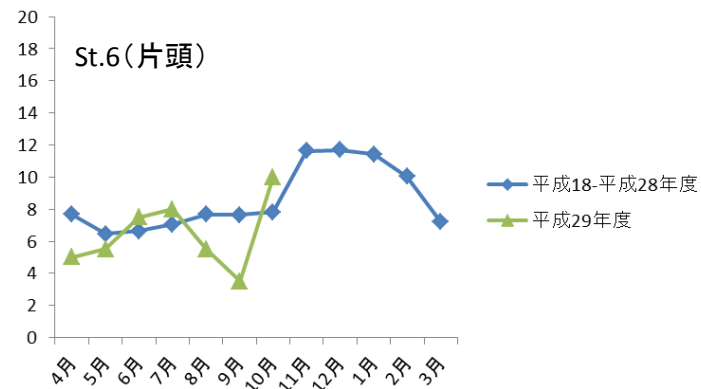
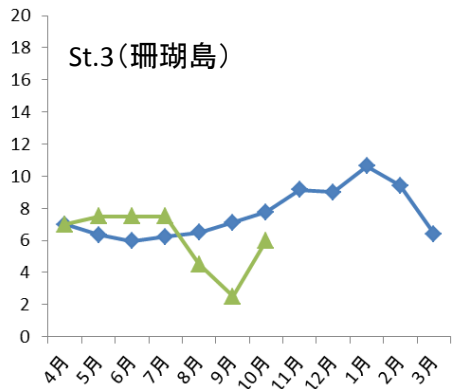
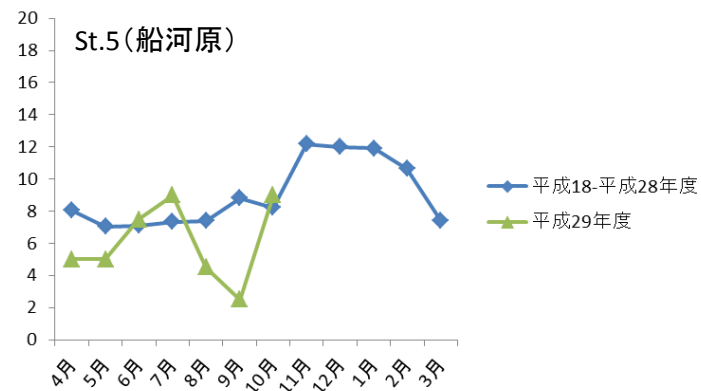
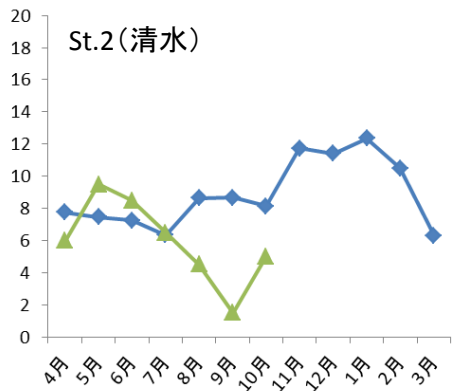
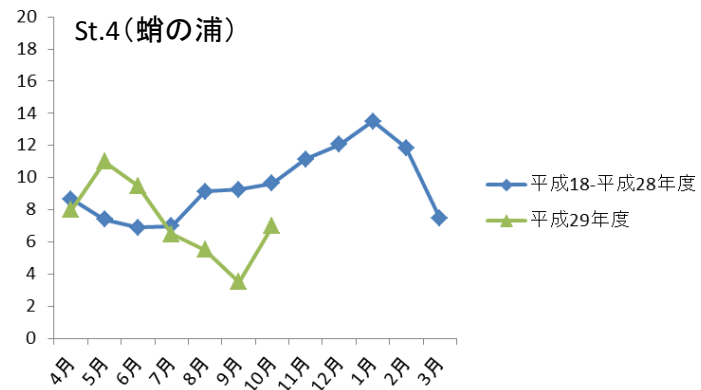
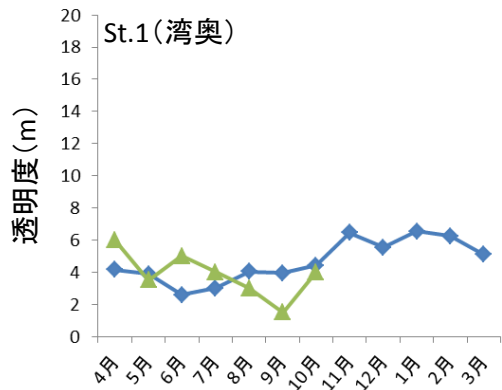


図2 透明度の推移

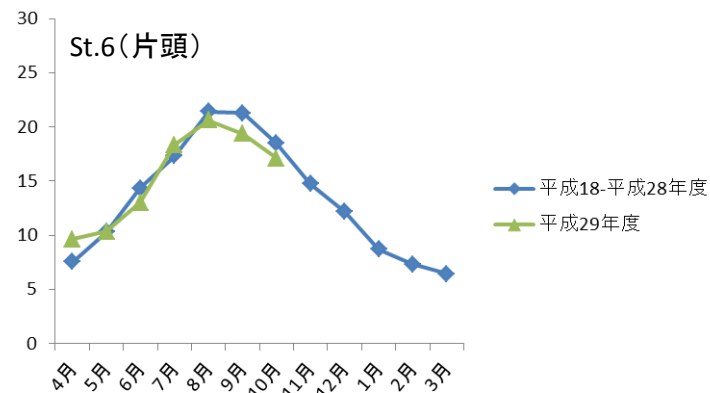
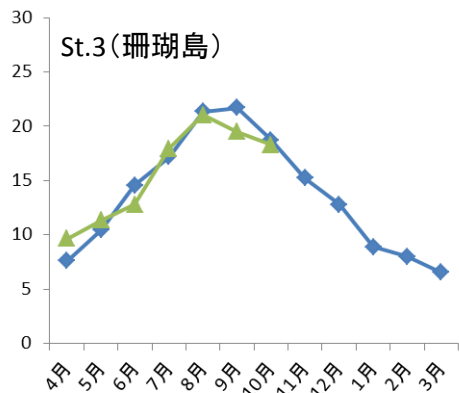
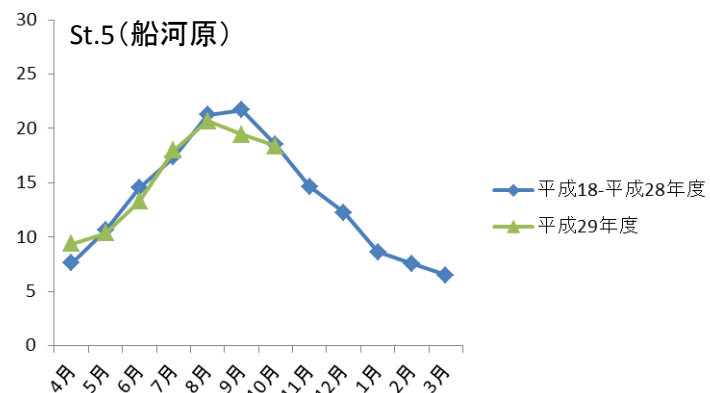
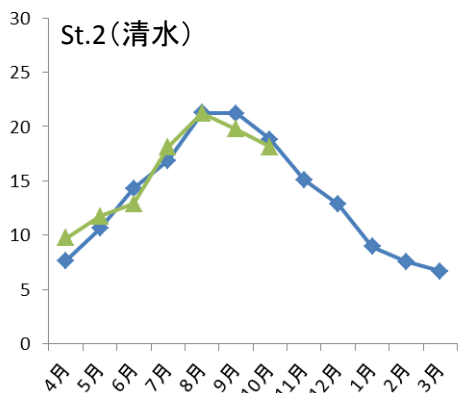
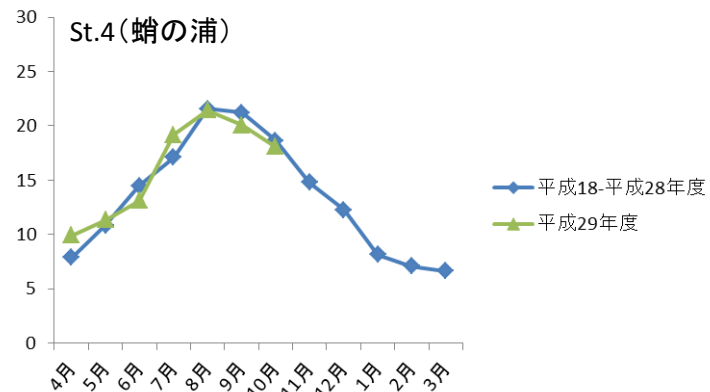
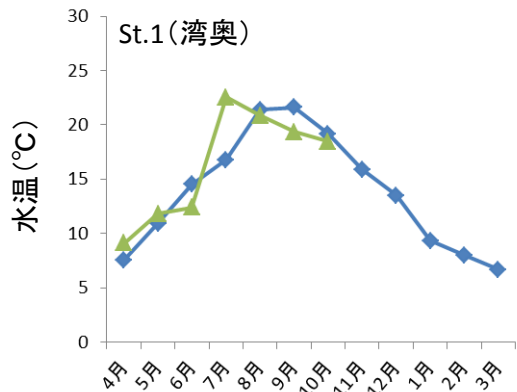


図3 水深2.5mの水温の推移

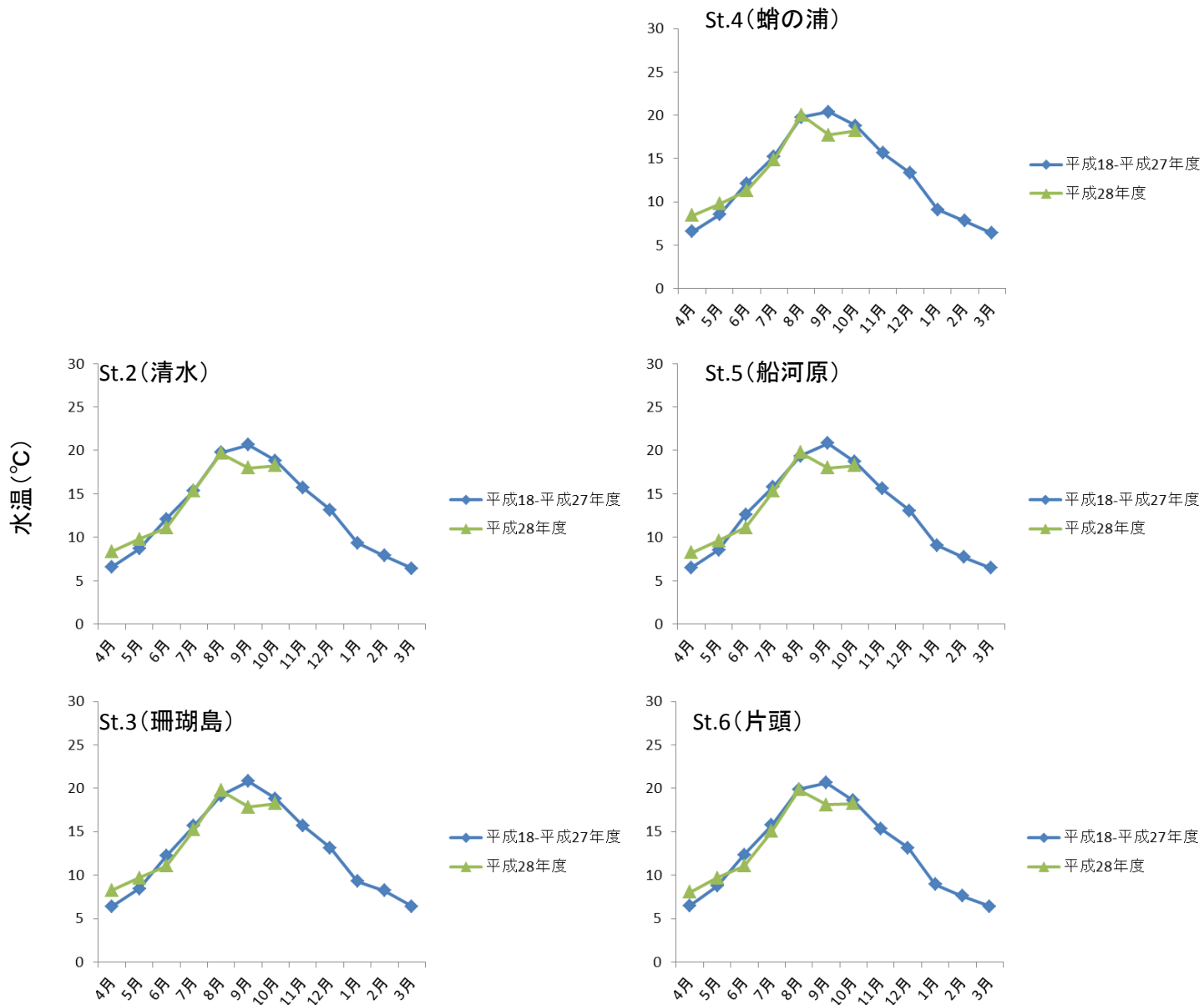


図4 水深10mの水温の推移

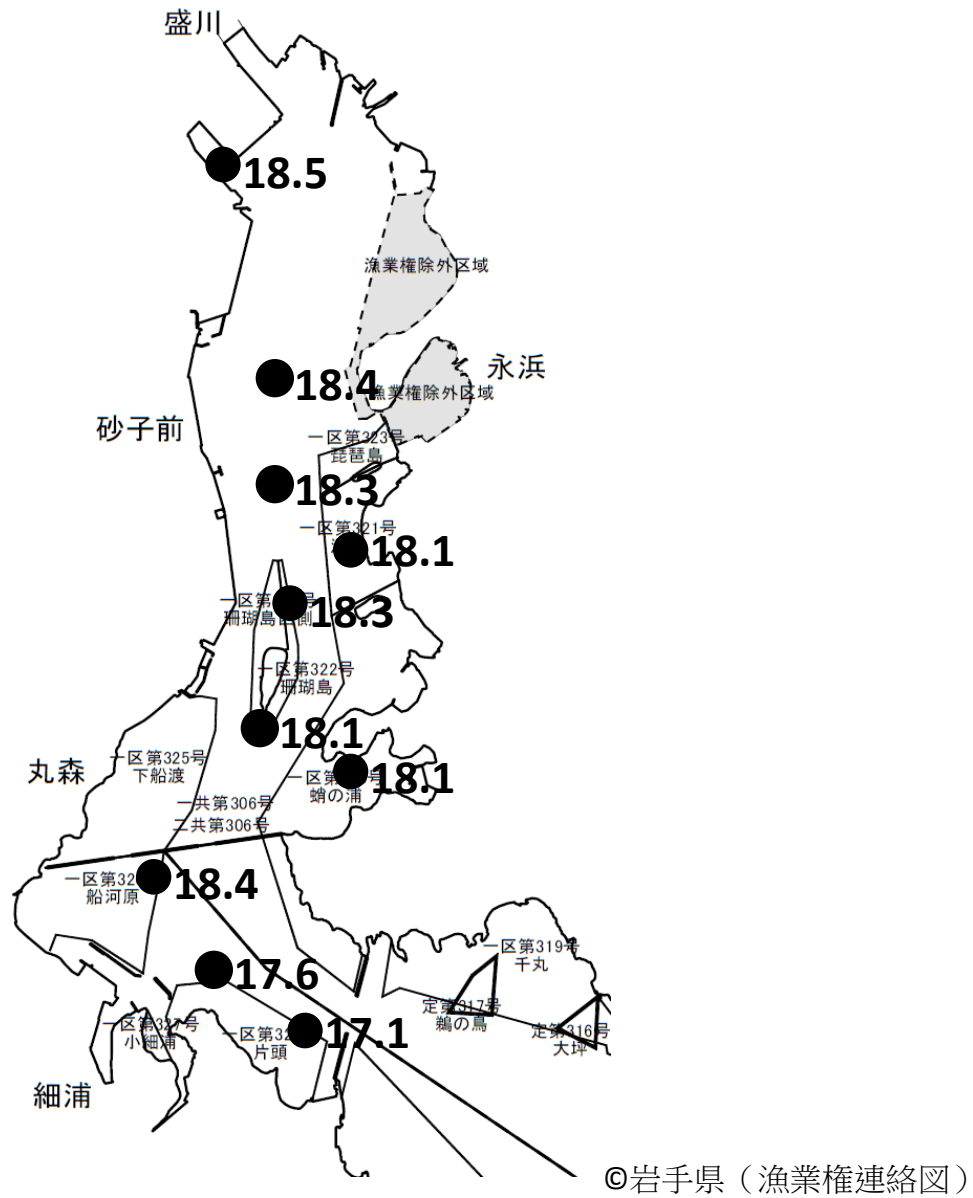
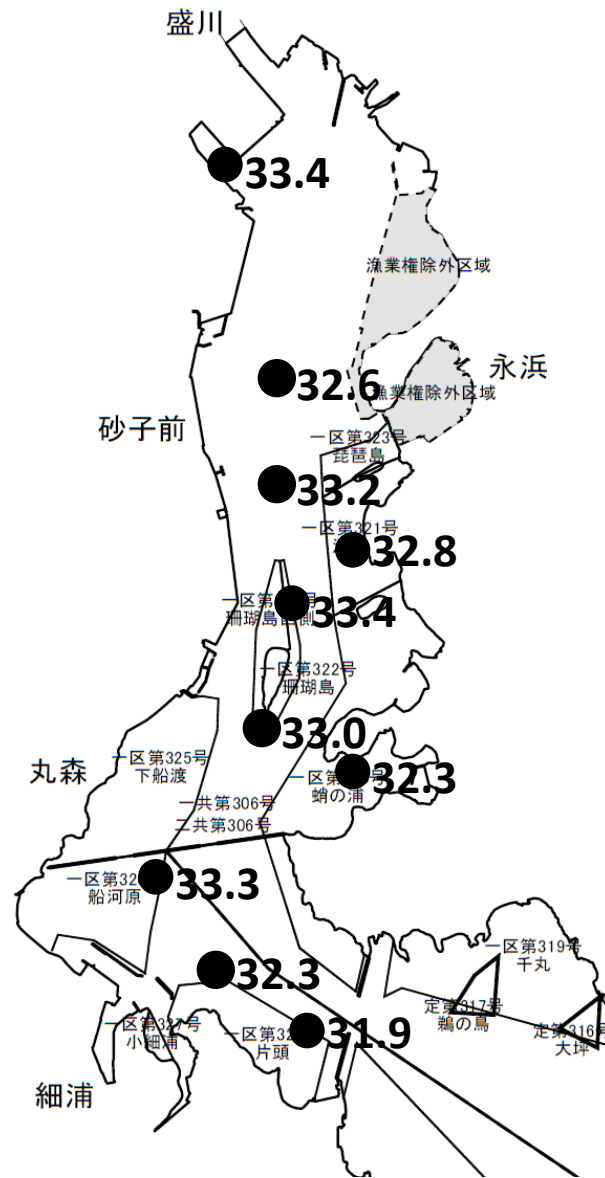


図5 水深2.5mの水温の分布

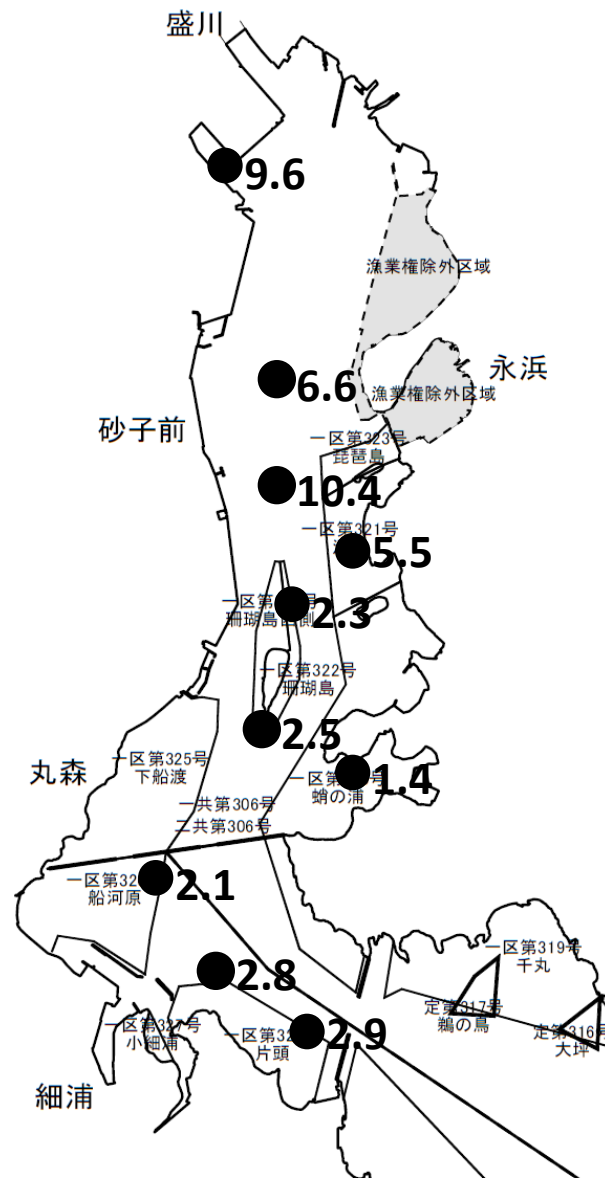
※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。